



きょうの紙面

公共 印旛沼活性化プラン  
草ぶえの丘に体験施設

公共 千葉市コンサル受注  
市内建築1位は千都

民間 成田市不動ヶ岡区整  
同意率引き上げに全力

民間 レッドウッドが市川  
原木-2開発を計画

公告 鋸南  
整備

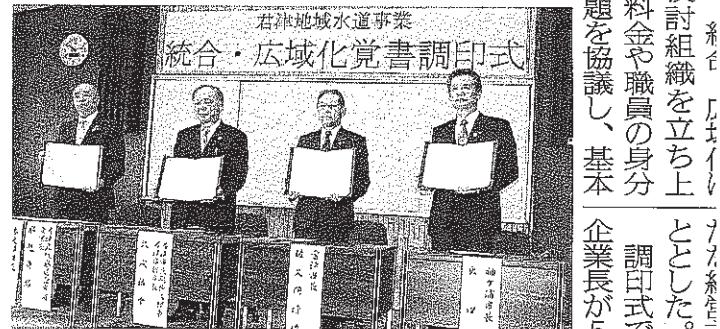
千葉県コンクリート製品協会の協同組合(花澤長文理事長)の技術委員会(花澤耕一委員長)の主催による「第6回試験・検査員養成セミナー」が11日、山武郡横芝光町の(株)林建材試験室で行われ、組合員11人が受講した。前回は(昨年)は受講者全員が第2回目の講習修了者で、その更新のためのセミナーだったのに対し、今回は11人中8人が新規受講。修了者には、組合から力量を証明する修了証(3年更新)を交付した。

また、新JISにおける試験員の要求事項をはじめ、千葉県型側溝、蓋、長尺U型など、数多くの製品を作るうえで必要な品質管理の知識と技術を身につける狙いもあるという。このように、組合独自の試験・検査員を養成するケースは全国でも珍しく、同組合における目玉事業の一つとして2008年から開始。ちなみに、同組合ではこれまでに、延べ50人(第1回目18人、第2回目21人、第3回目11人)の講習修了者に対して修了証を交付し、コンクリート製品における「試験・検査員」を養成。今回の講師は、同組合技術委員会の伊藤進副委員長(株)林建材)と川俣有平委員(千葉製業)が務めた。

組協  
コンクリート製品  
組合員8人が新規受講  
第6回試験・検査員養成セミナー

統合・広域

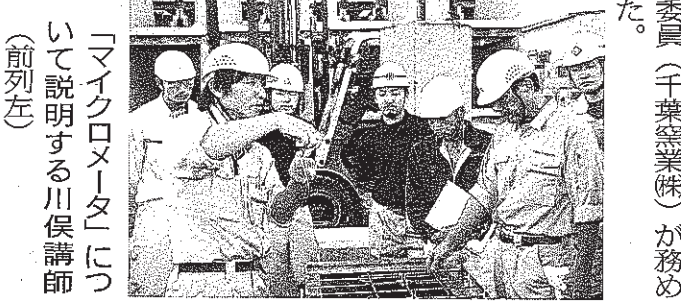
(左から)水越勇雄木更津市長、武次治幸君津市長職務代理者、佐久間清治富津市長、出口清袖ケ浦市長



向けた検討組織を立ち上げ、水道料金や職員的身分などの課題を協議し、基本調印式では4市の市長と企業長が5通の覚書にそれぞれ署名した。調印後、5団体は「統合・広域化へ強い握手」

調印式では4市の市長と企業長が5通の覚書にそれぞれ署名した。調印後、5団体は「統合・広域化へ強い握手」

同セミナーは、05年10月の新JISへの移行に伴い、「JIS Q17025適合性確認要領」プレキャストコンクリート製品の要求事項「5.2 要員の定め」に対応するため、各工場場で製品試験や検査に携わる要員の養成と力量アップに向けて、コンクリート製品の試験・検査の実施に必要な知識・技術・判断力を



「知識と経験を積んで成長してほしい」と将来の試験・検査員にエールを送る花澤理事長

若手が主体で次世代にバトン



試験機のラムシリンダーに油圧をかけて行う「製品曲げ強度試験」

開講に先立ちあいさつした花澤理事長は、「次回(来春)の工場認定検査で実際に行えるよう、本日は実技を通して勉強してもらおう。それぞれが会社の品質管理に対する責任者としての自覚を持ち、真剣に取り組んでほしい」と要請。また「20年前のレベルと比べると隔世の感がある」とした氏は「その技術を持し、決して後戻りさせないことなぐそれらを繰り返す中で、我々組合の技術と品質のレベルが保たれ、向上してい

「はつり」により鉄筋位置(かぶり)を確認する伊藤講師

【第6回試験・検査員養成セミナー受講者】  
▽高戸義尚(花沢建材工業)  
▽三滝 大(尚三滝コンクリート工業)  
▽坂本 勉(同)  
▽小川貴之(小川建材工業)  
▽佐藤利一(同)  
▽京相真人(京相製管)  
▽伊藤和宏(株)林建材  
▽水上卓夫(時田コンクリート工業)  
▽藤井幾斗(共栄建材工業)  
▽吉岡恵一(吉岡コンクリート工業)  
▽古川雅規(同古川コンクリート工業)

国土交通省は、きょう18日に「社会インフラのモニタリング技術活用推進検討委員会」を設置する。老朽化が進む社会インフラの状態を効率的に把握するためのモニタリング技術に関して、産学官が連携しながら検討を進めていくための会議で、学識経験者などで構成されている。

高度成長期に整備された社会インフラの老朽化問題

見て、触れて、学ぶ G空間EXPO 来月14日から

京都市東区で開催される。本年度のコンセプトは「地理空間情報科学で未来をつくる」。地理空間情報プラットフォームをはじめ3つのゾーンで構成し、G空間の最先端技術を、見て、触れて、学ぶことができる。

学校天井落下防止講習、12月東京で

文科省 文部科学省は、建築設計事務所関係者や自治体・学校の技術担当者などを対象とした、学校施設における天井落下防止対策の講習会を全国4会場(仙台・大阪・福岡・東京)で行う。同講習会は、本年6月に開催した第1回に続き追加で行われるもの。東京会場は12月20日(金)。場所は大田区民センター(東京都大田区)。定員600人。受講料は無料。

学校天井落下防止講習、12月東京で

文科省 文部科学省は、建築設計事務所関係者や自治体・学校の技術担当者などを対象とした、学校施設における天井落下防止対策の講習会を全国4会場(仙台・大阪・福岡・東京)で行う。同講習会は、本年6月に開催した第1回に続き追加で行われるもの。東京会場は12月20日(金)。場所は大田区民センター(東京都大田区)。定員600人。受講料は無料。